

平成30年

# 消防統計

第40回防火防災ポスターコンクール

最優秀賞

【仙南地域広域行政事務組合理事長賞】



大河原町立大河原小学校 5年 土生マリエさん

平成31年刊行

仙南地域広域行政事務組合消防本部

# 目 次

## 【火災統計】

火災統計の概要	1
1. 月別火災発生状況	2
2. 市町別火災発生状況	3
3. 時間別火災発生状況	4
4. 曜日別火災発生状況	5
5. 原因別火災発生状況及び損害額	6
6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移	7

## 【救急統計】

救急統計の概要	8
1. 月別救急活動状況	9
2. 市町別救急活動状況	10
3. 市町別医療機関収容状況（搬送人員）	11
4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況	12
5. 年齢区分別搬送状況	13
6. 傷病程度別搬送人員	14
7. 救急隊員の行った応急処置状況	15
8. 高速道路救急出動状況	16
9. 高速道路市町別出動状況	16
10. 応急手当講習会等の概要	17

## 【救助統計】

救助統計の概要	18
1. 月別救助出動・活動状況	19
2. 市町別救助出動・活動状況	20
3. 救出所要時間状況	21
4. 救助活動に使用した器具機材	21

## 【通信統計】

通信統計の概要	22
1. 総受信状況	23
2. 119番受付状況（災害種別）	23
3. 119番年間受付状況（固定電話と携帯電話別）	24
4. 119番以外による災害受付状況	24
5. 消防テレホンサービス利用状況	24

# 火災統計の概要

## 1. 出火件数

平成30年における出火件数は76件で、前年(91件)より15件の減少となっている。

これを、月当たりの出火件数で見ると平均6.3件となり、約5日に1件の割合で火災が発生したことになる。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災が34件と最も多く、全火災の44.7%を占め、次いでその他の火災が22件(28.9%)、車両火災が15件(19.8%)、林野火災が5件(6.6%)の順となっている。

また、月別にみると、4月が17件と最も多く、次いで3月が9件、2月、5月、8月、12月が各7件の順となっている。

## 2. 焼損程度

焼損棟数は57棟で、前年(71棟)より14棟の減少となっており、1件当たりの建物火災で1.7棟が焼損したことになる。

また、建物火災における焼損面積は3,020㎡で、前年(5,860㎡)に比べ2,840㎡の減少となり、1件当たりの焼損面積は88.8㎡となる。

林野火災における焼損面積は15aで、前年(222a)に比べ207aの減少となっている。

## 3. 死者及び負傷者

火災による死者は4人で、前年(1人)と比べ3人の増加となっている。

負傷者については17人で、前年(18人)に比べ1人の減少となっている。

## 4. り災世帯数及びり災人員

り災世帯数は41世帯で、前年(41世帯)と同数となっている。

り災人員は85人で、1世帯当たり約2人がり災している状況となっている。

## 5. 損害額

損害額は193,772千円で、前年(860,858千円)に比べ667,086千円の減少となっている。

種別ごとにみると建物の損害が179,609千円と全体の92.7%を占め、その他の損害が7,328千円(3.8%)、車両の損害が6,044千円(3.1%)、林野の損害が791千円(0.4%)の順となっている。

## 6. 出火原因

出火原因別で見ると、放火の疑いによる火災が12件、たばこによる火災が8件、放火による火災が6件の順となっている。

# 1. 月別火災発生状況

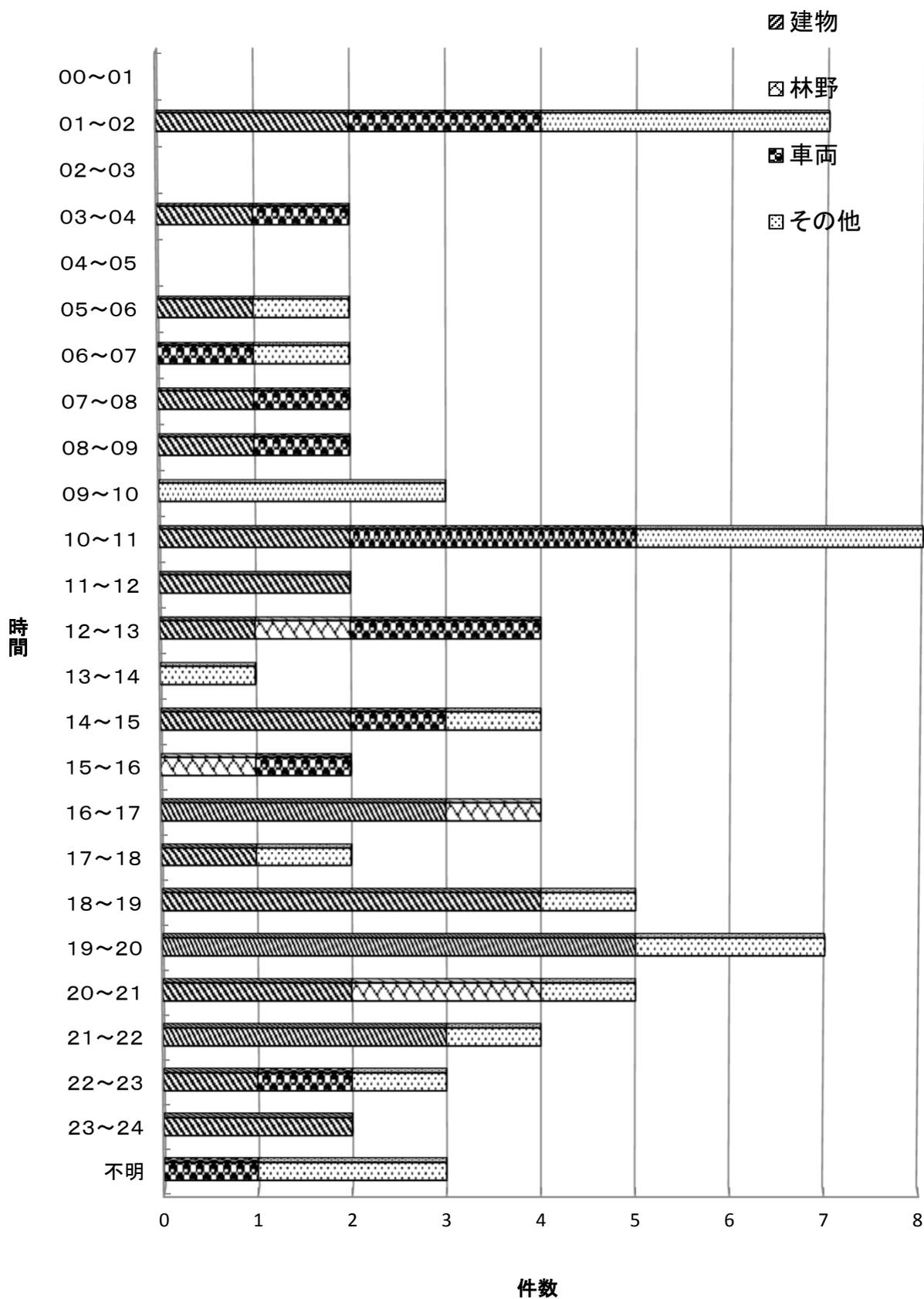
区分 月別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死者	負傷者	り災世帯数				り災人員	損害額(千円)						放水火災件数	放水台数		出動人員 署員 ----- 団員	
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 (㎡)	林野 (a)			計	全損	半損	小損		計	建物		林野	車両	その他		爆発	消防署		消防団
																					建物	収容物								
1月	4	2		1	1	4	2		2		619			4	4	3		1	11	80,323	57,295	22,988		40			4	10	7	67 ----- 128
2月	7	5		1	1	6	1	1	1	3	73			2	3			3	4	2,088	798	459		630	201		3	7	1	60 ----- 75
3月	9	4	1	1	3	5	2			3	86	1		3	2		1	3	18,570	6,542	4,579		2,300	5,149		6	9	1	135 ----- 223	
4月	17	5	2	3	7	8	4		4		514	3	1	3	5	2	1	2	11	36,397	31,789	3,465	111	952	80		14	29	13	214 ----- 484
5月	7	4		2	1	6	4		1	1	215			1	3	1		2	4	7,403	6,431	256		571	145		5	13	5	97 ----- 272
6月	5	1		1	3	5	2		2	1	80			1	2	1		1	5	3,142	1,217	1,609		316			3	4	3	62 ----- 161
7月	1	1				1		1			64				1		1		4	2,401	1,953	448					1	3	1	21 ----- 24
8月	7	5			2	8	3			5	825				4	1		3	9	6,311	3,958	510		91	1,752		5	8		107 ----- 118
9月	5	1		3	1	1			1		13		1	2	1			1	4	1,099	635	129		335			2	2		23 ----- 19
10月	2	1		1		1			1		47		1	1	6	1		5	13	2,990	2,825	94		70	1		2	3		32 ----- 57
11月	5	3		1	1	3			1	2	72			1	3			3	5	11,177	10,646	134		397			2	5		70 ----- 81
12月	7	2	2	1	2	9	3	1	4	1	412	11	1	2	6	1	1	4	12	21,871	18,642	2,207	680	342			6	13	2	107 ----- 180
合計	76	34	5	15	22	57	21	3	17	16	3,020	15	4	17	41	12	3	26	85	193,772	142,731	36,878	791	6,044	7,328		53	106	33	995 ----- 1,822
前年	91	41	8	14	28	71	34	3	20	14	5,860	222	1	18	41	16	2	23	112	860,858	306,934	541,969	1,627	7,188	3,140		66	152	65	1,318 ----- 2,457

## 2. 市町別火災発生状況

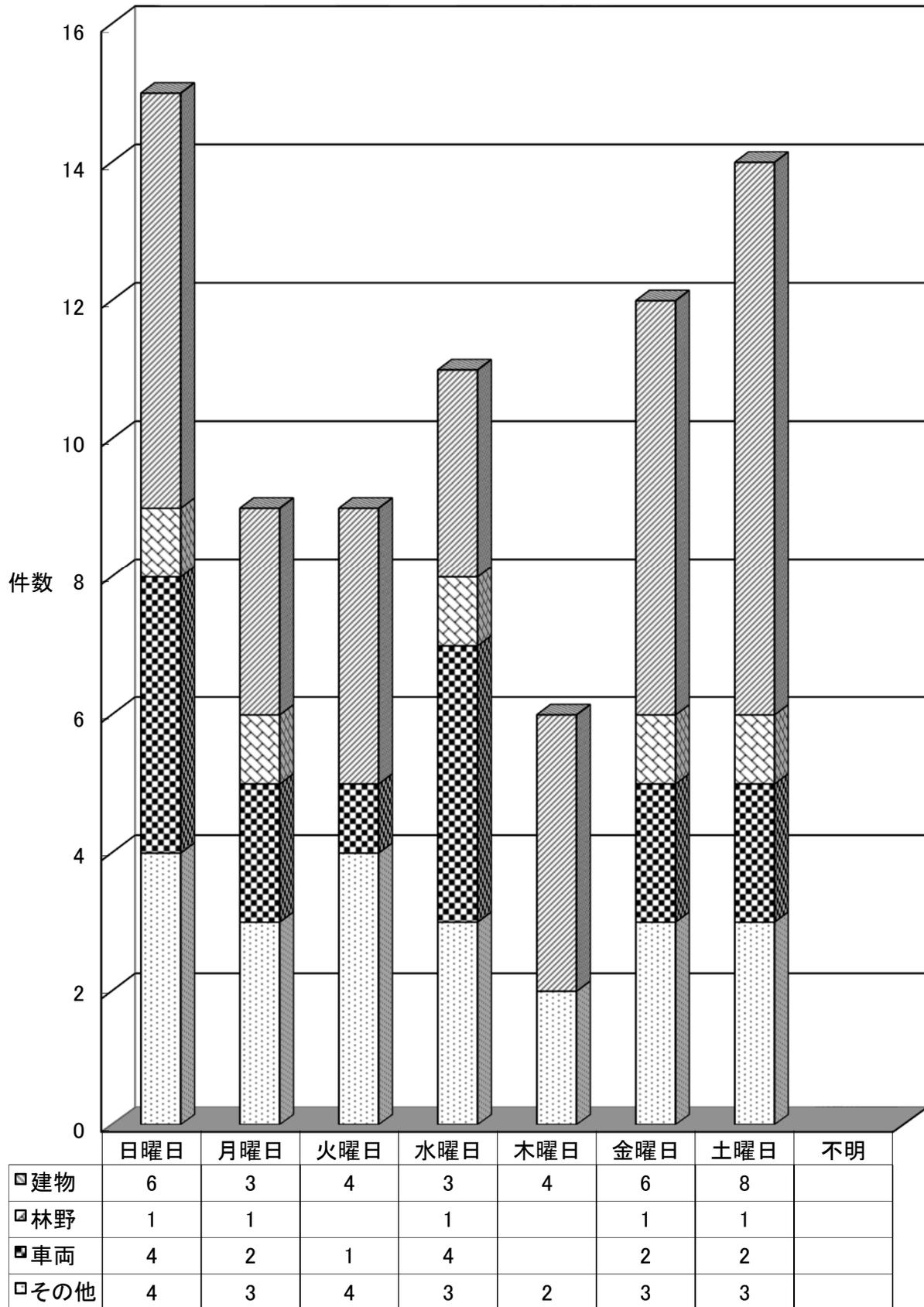
区分 市町別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死 者	負 傷 者	り災世帯数				り 災 人 員	損 害 額 (千円)						出 火 率 (件)	
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)			計	全 損	半 損	小 損		計	建 物		林 野	車 両	そ の 他		爆 発
																					建物	収容物					
白石市	21	5	1	5	10	11	3		6	2	562	2	3	3	13	4		9	31	73,403	50,600	21,922	60	820	1		6
角田市	13	6		4	3	7	2			5	147			2	5	1		4	7	7,113	6,259	273		516	65		4.3
蔵王町	7	5		1	1	7	5		1	1	476			4	4	2	1	1	9	35,100	30,204	4,448		303	145		5.8
七ヶ宿町	1	1				1				1										14	14						10
大河原町	3	3				10	3		6	1	385		1	2	6	1		5	11	18,215	16,152	1,871		192			1.3
村田町	8	2	2	2	2	2		1		1	64	12			1		1		4	15,774	1,953	4,730	731	2,930	5,430		7.3
柴田町	9	6	1	1	1	10	4	1	1	4	923			1	6	2	1	3	10	15,163	13,579	1,163		421			2.4
川崎町	7	4			3	7	3	1	2	1	422			1	4	1		3	8	27,989	23,859	2,391		67	1,672		7.8
丸森町	7	2	1	2	2	2	1		1		41	1		4	2	1		1	5	1,001	111	80		795	15		5
合計	76	34	5	15	22	57	21	3	17	16	3,020	15	4	17	41	12	3	26	85	193,772	142,731	36,878	791	6,044	7,328		4.3
前年	91	41	8	14	28	71	34	3	20	14	5,860	222	1	18	41	16	2	23	112	860,858	306,934	541,969	1,627	7,188	3,140		5.2

※出火率とは、人口1万人に対する火災発生件数

### 3. 時間別火災発生状況



## 4 曜日別火災発生状況

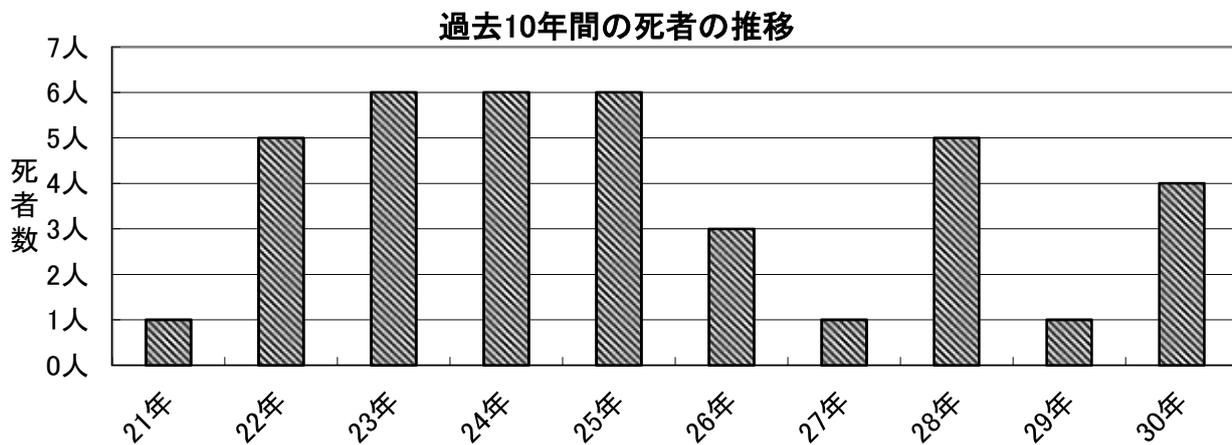
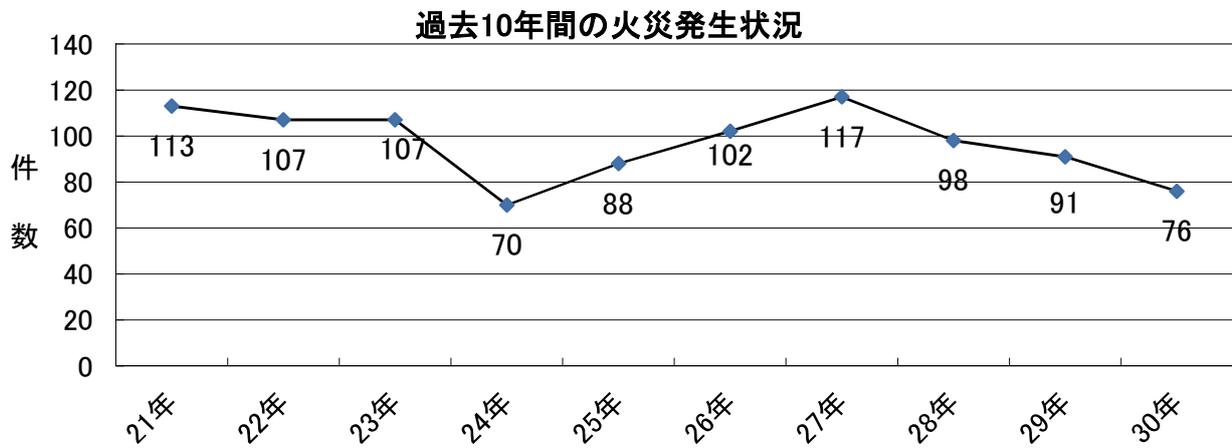


## 5. 原因別火災発生状況及び損害額

原因	平成29年		平成30年	
	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
放火の疑い	2	2	12	10,059
たばこ	8	7,867	8	9,563
放火	1	10,129	6	772
たき火	8	166	5	330
こんろ	4	422	3	323
ストーブ	2	4,677	3	87,104
焼却炉			3	0
排気管	6	6,400	2	931
電灯電話・器具等 配線	2	11,136	2	14,885
風呂・かまど	3	29,701	1	102
火あそび	2	293	1	0
火入れ	5	2		
煙突・煙道	2	8,356		
灯火	1	6,297		
ボイラー	1	43		
その他	31	719,896	25	46,765
不明	13	55,471	5	22,938
合計	91	860,858	76	193,772

## 6. 過去10年間市町別火災発生状況と死者の推移

市町別	年別	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	合計
	白石市	火災	33	20	29	15	17	25	24	20	12	21
	死者	1	1	2		1	1		1		3	10
角田市	火災	11	17	15	15	15	22	16	16	11	13	151
	死者			1	3							4
蔵王町	火災	9	12	6	5	10	11	30	13	11	7	114
	死者		2			2						4
七ヶ宿町	火災	2	1	3		4	1	1	1	3	1	17
	死者											
大河原町	火災	10	10	10	6	4	4	6	5	7	3	65
	死者			1				1			1	3
村田町	火災	12	7	9	6	5	13	12	16	15	8	103
	死者						2		3			5
柴田町	火災	9	14	15	13	12	8	10	9	10	9	109
	死者		1		2							3
川崎町	火災	6	19	11	4	9	11	14	11	13	7	105
	死者			2	1	1						4
丸森町	火災	21	7	9	6	12	7	4	7	9	7	89
	死者		1			2			1	1		5
合計	火災	113	107	107	70	88	102	117	98	91	76	969
	死者	1	5	6	6	6	3	1	5	1	4	38



# 救急統計の概要

## 1. 出動件数と搬送人員

平成30年の救急出動件数は、8,168件で前年(7,959件)に比べて209件(2.6%)の増加となり、搬送人員については、7,246人で前年(7,047人)に比べ199人(2.8%)の増加となっている。

事故種別の件数は、急病が5,161件と依然最も多く全体の63.2%を占め、次いで転院搬送の1,108件(13.6%)、一般負傷953件(11.7%)、交通事故598件(7.3%)の順となっている。

## 2. 市町別出動件数及び搬送人員

市町別の出動件数及び搬送人員では、白石市が最も多く1,789件の出動で1,597人を搬送しており、次いで柴田町1,496件(1,279人)、角田市1,306件(1,178人)、大河原町1,110件(979人)の順となっている。

## 3. 覚知からの現場到着時間及び収容時間

覚知から現場到着までの所要時間をみると、5分～9分が4,147件と最も多く全体の50.8%を占め、次いで10分～19分2,767件(33.9%)、3分～4分777件(9.5%)の順となっており、現場到着までの平均時間は9.5分となっている。

覚知から収容までの所要時間をみると、30分～59分が4,653件と全体の64.2%を占め、次いで20分～29分1,435件(19.8%)、60分～119分952件(13.1%)の順となっており、収容までの平均時間は42.3分となっている。

## 4. 救急隊員の応急処置状況等

救急隊員が応急処置を行った傷病者数は7,224人であり、応急処置総件数は23,843件で、傷病者1人に対し約3.3種類の応急処置を行ったことになる。

その内容は、血中酸素飽和度測定6,983件、血圧測定6,876件、心電計による観察4,152件の順となっており、心肺蘇生法を実施した件数は212件であった。

心肺機能停止だった傷病者のうち、医師引継ぎ時又は引継ぎ後に心拍が再開し入院となった人が33人(前年23人)、1ヶ月後生存13人(前年6人)、社会復帰者は12人(前年5人)となっている。

また、救急救命士が医師の指示に基づき実施した救急救命処置の延べ数は255件となっている。

## 5. 高速自動車道における出動件数及び搬送人員

出動件数は51件で、東北自動車道39件、山形自動車道12件となっている。また、搬送人員は42人で、軽症19人、中等症18人、重症5人、死亡0人となっている。

# 1. 月別救急活動状況

月別	区分	事故種別 合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			一日平均
													転院搬送	医師搬送	その他	
1	出動件数	751	4		1	36	1	1	107	1	8	491	97		4	24.2
	搬送人員	648	4			34	1	1	99		6	408	95			20.9
2	出動件数	690	6		1	47	7	3	64	1	2	451	104		4	22.0
	搬送人員	603	1			45	6	3	54	1	2	387	104			18.9
3	出動件数	679	3		1	60	5	2	72		4	434	97		1	21.9
	搬送人員	608				54	5	2	67			383	97			19.6
4	出動件数	657	6			49	5	8	85		10	406	83	1	4	21.9
	搬送人員	577	1			47	5	7	73		7	354	83			19.2
5	出動件数	650	4			37	7	8	94		8	410	81		1	21.0
	搬送人員	575				37	6	8	80		7	357	80			18.5
6	出動件数	605	2			49	5	12	69	3	6	364	94	1		20.2
	搬送人員	546	1			42	4	10	65	2	6	323	93			18.2
7	出動件数	767	1		2	56	8	25	90		7	491	82	1	4	24.7
	搬送人員	689			1	54	7	23	83		3	437	81			22.2
8	出動件数	812	4			69	11	11	79	3	5	516	109	1	4	26.2
	搬送人員	730				61	11	11	75	2	1	460	109			23.5
9	出動件数	598	2			48	6	8	59	1	9	377	87	1		19.9
	搬送人員	544	2			53	5	8	53		6	330	87			18.1
10	出動件数	658	2		1	50	7	18	93	3	4	382	94		4	21.2
	搬送人員	573	1			47	6	17	86	2	2	319	93			18.5
11	出動件数	630	3		1	42	3	8	77	4	2	406	84			21.0
	搬送人員	565			1	37	3	9	71	2	1	357	84			18.8
12	出動件数	671	5			55	7	3	64	1	3	433	96		4	21.6
	搬送人員	588	2			47	6	3	60	1	2	371	96			19.0
合計	出動件数	8,168	42		7	598	72	107	953	17	68	5,161	1,108	5	30	22.3
	搬送人員	7,246	12		2	558	65	102	866	10	43	4,486	1,102			19.8
前年	出動件数	7,959	48	3	10	630	55	84	958	21	70	5,033	1,026	1	20	21.7
	搬送人員	7,047	13	3	6	592	53	83	849	12	50	4,368	1,018			19.3

## 2. 市町別救急活動状況

市町別 区分		白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	管轄外	合計	前年	
		事故 別 救急 出動 件数	火災	6	6	7	1	5	4	5	4	4		42
自然災害													3	
水難	2			1	1			2		1		7	10	
交通事故	88		104	76	10	70	56	114	45	33	2	598	630	
労働災害	7		17	9	2	9	5	9	8	6		72	55	
運動競技	14		19	11		11	25	21	5	1		107	84	
一般負傷	200		137	95	21	112	68	174	57	89		953	958	
加害	2		1	1		3	2	7	1			17	21	
自損行為	13		11	6		9	7	12	5	5		68	70	
急病	1,138		810	432	83	644	343	1049	274	387	1	5,161	5,033	
その他	転院搬送		312	199	62	16	237	21	99	69	93		1,108	1,026
	医師搬送			1	2	1					1		5	1
	その他		7	1	1		10	2	4	2	2	1	30	20
計			1,789	1,306	703	135	1,110	533	1,496	470	622	4	8,168	7,959
事故 別 搬送 人員	火災	2	2	4		2				2		12	13	
	自然災害												3	
	水難				1			1				2	6	
	交通事故	78	100	71	7	69	52	101	46	32	2	558	592	
	労働災害	7	16	8	2	7	4	9	8	4		65	53	
	運動競技	14	16	11		11	24	21	4	1		102	83	
	一般負傷	181	123	88	21	103	63	149	52	86		866	849	
	加害		1	1		2	1	4	1			10	12	
	自損行為	6	9	4		8	5	7	2	2		43	50	
	急病	999	713	389	76	541	304	889	235	339	1	4,486	4,368	
	その他	310	198	62	16	236	21	98	69	92		1,102	1,018	
	計		1,597	1,178	638	123	979	474	1,279	417	558	3	7,246	7,047

### 3. 市町別医療機関収容状況(搬送人員)

発生市町別	収容先市町別 搬送人員	発生市町内病院 等収容率	市町別収容医療機関																	広域圏外収容率	
			白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	仙台市	名取市	岩沼市	多賀城市	塩竈市	県北	亶理郡	福島県		山形県
白石市	1,597	63.9%	1,020	1	3		388		4		123	7	10		1		1	39		11.3%	
角田市	1,178	14.0%	97	165			700		9		41	68	13	62				21	2	14.1%	
蔵王町	638	4.4%	364		28		185			5	44	2	7						2	1	8.8%
七ヶ宿町	123	2.4%	75			3	10												7	17	28.5%
大河原町	979	67.1%	112	7			657		6	6	3	141	15	24				4	4	19.2%	
村田町	474	1.7%	48				362	8	2	6		34	3	8				1		2	10.1%
柴田町	1,279	4.9%	92	8			851		63	1	4	95	19	144				2		20.3%	
川崎町	417	30.7%	18				122				128		3	1		1	1			7	27.9%
丸森町	558	35.8%	33	14			214	1				200	27	5	10			24	30	17.2%	
管轄外	3												1						2		100.0%
計	7,246		1,859	195	31	3	3,489	9	84	146	248	680	67	266	2	1	53	86	27		
搬送率		83.7%	25.7%	2.7%	0.43%	0.04%	48.2%	0.12%	1.2%	2.0%	3.4%	9.4%	0.9%	3.7%		0.03%	0.01%	0.73%	1.2%	0.37%	16.3%

#### 4. 市町別現場到着及び収容所要時間状況

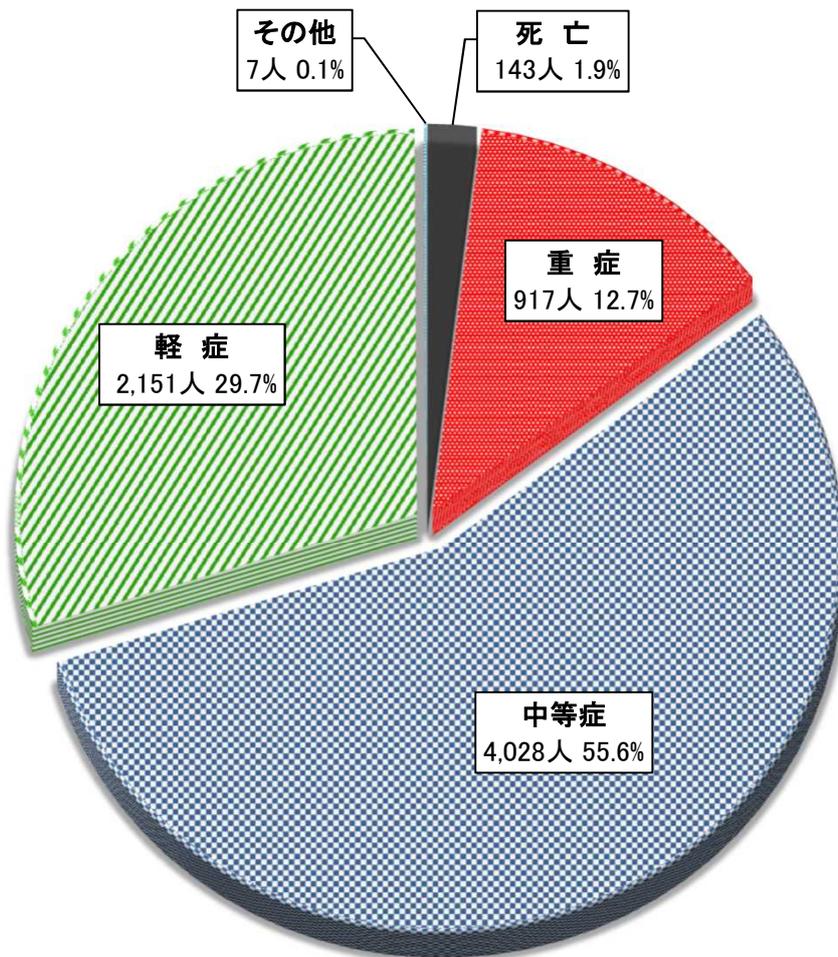
種別 市町別	覚 知 か ら 現 場 到 着							覚 知 か ら 収 容 時 間 ( 搬 送 人 員 )							
	3 分 未 満	3~4 分	5~9 分	10~19 分	20 分 以 上	計	平均 時 分	10 分 未 満	10~19 分	20~29 分	30~59 分	60~119 分	120 分 以 上	計	平均 時 分
白 石 市	4	147	1,095	440	103	1,789	9.1		94	557	831	113	2	1,597	36.1
角 田 市	16	227	534	480	49	1,306	9.1		14	98	908	155	3	1,178	44.8
蔵 王 町	3	15	224	395	66	703	12.0		2	61	463	110	2	638	46.8
七ヶ宿町	1	16	57	48	13	135	11.0		1	2	72	48		123	59.2
大河原町	6	122	616	359	7	1,110	8.4	1	22	291	584	79	2	979	38.0
村 田 町	5	39	286	193	10	533	9.1	1	14	91	329	37	2	474	39.2
柴 田 町	17	84	902	470	23	1,496	8.8	1	14	222	922	119	1	1,279	40.8
川 崎 町	9	38	213	163	47	470	10.7		15	49	231	119	3	417	50.1
丸 森 町	10	89	220	219	84	622	11.5		5	64	311	171	7	558	53.3
管 外					4	4	28.8				2	1		3	67.3
計	71	777	4,147	2,767	406	8,168	9.5	3	181	1,435	4,653	952	22	7,246	42.3

## 5. 年齢区分別搬送状況

種別 年齢	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 ・ そ の 他	合 計
新生児										1	14	15
乳幼児	1			12		1	30			126	16	186
7～17				38	2	53	30		6	87	13	229
18～24			2	84	3	15	14	1	2	111	19	251
25～34				63	6	3	24	1	3	143	35	278
35～44	1			56	13	8	27	2	12	169	50	338
45～54	2			74	10	11	40	2	7	226	52	424
55～64	3			66	15	7	64		5	442	110	712
65～74	1			82	14	1	150	1	2	800	180	1,231
75歳以上	4			83	2	3	487	3	6	2,381	613	3,582
合計	12		2	558	65	102	866	10	43	4,486	1,102	7,246
前年	13	3	6	592	53	83	849	12	50	4,368	1,018	7,047

## 6. 傷病程度別搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡			1	20	122	143
重症	1	5	13	199	699	917
中等症	14	75	84	1,004	2,851	4,028
軽症		106	131	776	1,138	2,151
その他				4	3	7
合計	15	186	229	2,003	4,813	7,246



## 7. 救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 応急処置種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	前年
応急処置対象人員	4,479	553	860	1,332	7,224	7,030
止血	27	46	139	33	245	275
固定	26	230	138	70	464	525
人工呼吸	21	2	1	2	26	23
胸骨圧迫						
心肺蘇生	177	2	17	16	212	206
うち自動心臓マッサージ	(62)		(4)	(5)	(71)	(72)
酸素吸入	882	27	58	347	1,314	1,313
気道確保	215	4	19	20	258	252
うち経鼻エアウェイ	(5)		(1)		(6)	(3)
うち異物除去			(2)		(2)	(3)
うち食道閉鎖式	(55)		(2)	(2)	(59)	(57)
うち気管挿管	(1)		(2)		(3)	(1)
保温	704	55	132	209	1,100	1,334
被覆	22	79	165	38	304	340
在宅療法継続	42	1	6	9	58	37
除細動	19			3	22	30
静脈路確保(CPA前)	75	6	5	6	92	76
静脈路確保(CPA後)	52		1	4	57	70
薬剤投与 (アドレナリン)	26		1	2	29	33
薬剤投与 (ブドウ糖溶液)	15				15	26
血圧測定	4,228	539	819	1,290	6,876	6,693
心音呼吸音の聴取	929	128	101	216	1,374	1,403
血中酸素飽和度測定	4,297	547	831	1,308	6,983	6,842
血糖測定	151	1	8	6	166	156
心電計による観察	3,035	112	253	752	4,152	3,844
うち心電図伝送	(347)		(5)	(135)	(487)	(239)
その他	59	7	11	19	96	83
合計	15,002	1,786	2,705	4,350	23,843	
前年	14,837	2,022	2,663	4,039		23,561

※網掛け部分については、救急救命士が行うことが出来る救急救命処置

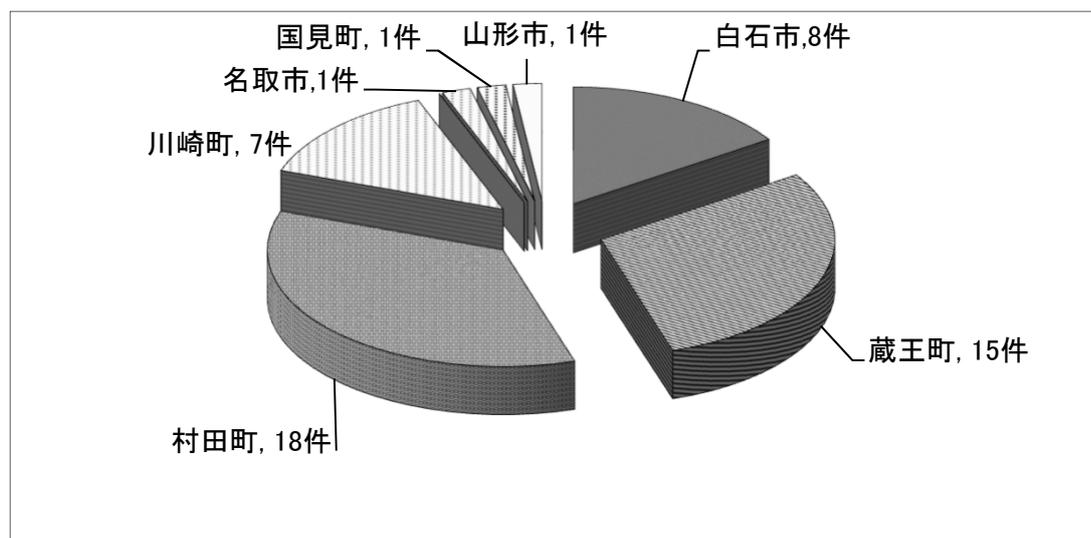
※( )内は内訳

## 8. 高速道路救急出動状況

種別 月別	出 動 件 数						搬 送 人 員						傷病程度					性別			
	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	火 災	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	自 損 行 為	そ の 他	計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	男	女
1		3					3		4					4		1	2	1		3	1
2	1	5					6		7					7			3	4		3	4
3	1	3		2			6		1		2			3		1	1	1		2	1
4	1	2		1		1	5		2		1			3			3			3	
5				1			1				1			1		1				1	
6		3		4			7		1		4			5		1	2	2		5	
7		1		2		1	4		1		4			5			2	3		3	2
8		5		1			6		4		1			5		1	3	1		2	3
9		1		1			2		2		1			3				3		1	2
10	1	1		4			6				3			3			1	2		2	1
11																					
12		4		1			5		2		1			3			1	2		3	
計	4	28		17		2	51		24		18			42		5	18	19		28	14
前年	4	48	1	23		1	77		51	1	18			70		4	22	44		43	27

## 9. 高速道路市町別出動状況

東北自動車道 39 件  
山形自動車道 12 件



## 10. 応急手当講習会等の概要

平成30年における応急手当普及啓発活動状況は、普通救命講習会・上級救命講習会・  
応急手当講習会等を実施し、延べ6,567名が受講しました。

講習種別	受講者数	講習回数	内容
普通救命講習会 (3時間講習)	2,071名	133回	心肺蘇生法(主に成人対象)、AEDの使い方、異物除去法、大出血時の止血法等、救命手当について学びます。
上級救命講習会 (8時間講習)	95名	6回	普通救命講習の内容に加えて、小児・乳児の心肺蘇生、傷病者管理、外傷の応急手当、搬送法等を学びます。
救命入門コース (1.5時間講習)	87名	3回	小学校高学年から中学生の方、これから普通救命講習を受講される方等を対象とした、胸骨圧迫やAEDの使い方を中心に学ぶコースです。
応急手当普及員講習会 (3日間講習)	20名	1回	学校や事業所等で応急手当を普及していただける方を養成するための講習です。講習修了者には普及員認定証が交付されます。(隔年実施)
応急手当普及員再講習会 (3時間講習)	26名	2回	前回の応急手当普及員講習受講日から3年以内に再度受講する方のための講習です。
応急手当講習会 (3時間未満講習)	4,268名	125回	救急講話や外傷の処置など、時間や内容について受講者の希望に沿った形で開催します。
合計	6,567名	270回	

## 救助統計の概要

### 1. 出動件数・活動件数・救助人員

平成30年の救助出動件数は99件であり、前年の107件から8件の減少となっている。

救助活動を行った件数は63件で、前年の活動件数45件から18件の増加となっている。また、救助人員は70人で、前年の50人から20人の増加となっている。

事故種別ごとにみると、交通事故71件（活動46件・救助人員51人）で最も多く、その他の事故15件（活動8件・救助人員8人）、水難事故6件（活動5件・救助人員5人）、機械による事故4件（活動1件・救助人員3人）、火災2件（活動2件・救助人員2人）、ガス及び酸欠事故1件（活動1件・救助人員1人）となっている。

### 2. 救出所要時間

現場に到着してから救出にかかった所要時間をみると、10分未満が28件で最も多く、ついで10～19分が16件、20～29分が8件、30～59分が7件、120分以上が3件、60～119分が1件の順となっている。

# 1. 月別救助出動 ・ 活動状況

区分 月別	事故種別出動 ・ 活動件数 ( )内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機械 る事等に	よ建物 る事等に	酸ガス 欠事及び	爆発 事故	その 事故の	計	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害	よ機械 る事等に	よ建物 る事等に	酸ガス 欠事及び	爆発 事故	その 事故の	計
1	(1) 1	(4) 6	1							(5) 8	1	5								6
2		(4) 6			(1) 2					(5) 8		4		3						7
3		(7) 12	(1) 1					(1) 1		(9) 14		10	1						1	12
4		(4) 4						1		(4) 5		4								4
5		(4) 4	(1) 1				(1) 1			(6) 6		4	1			1				6
6		(2) 3						(1) 2		(3) 5		2							1	3
7		(4) 6	(1) 1		1					(5) 8		5	1							6
8		(3) 7						(1) 1		(4) 8		3							1	4
9		(4) 6			1			2		(4) 9		4								4
10	(1) 1	(2) 7	(1) 1					(2) 5		(6) 14	1	2	1						2	6
11		(4) 4	(1) 1							(5) 5		4	1							5
12		(4) 6						(3) 3		(7) 9		4							3	7
合計	(2) 2	(46) 71	(5) 6		(1) 4		(1) 1		(8) 15	(63) 99	2	51	5		3		1		8	70
前年	(1) 1	(32) 74	(1) 7	(1) 2	2				(10) 21	(45) 107	1	35	1	3					10	50

## 2. 市町別救助出動 ・ 活動状況

区分 市町別	事故種別出動 ・ 活動件数 ( )内は活動件数										事故種別救助人員									
	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害等	よ機械 る事等に	よ建物 る事等に	酸ガス 欠事及び	爆発 事故	その 事他の	計	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害等	よ機械 る事等に	よ建物 る事等に	酸ガス 欠事及び	爆発 事故	その 事他の	計
白石市	(2) 2	(6) 11	(1) 1					(3) 6	(12) 20	2	7	1						3	13	
角田市		(11) 15			1			(2) 2	(13) 18		11							2	13	
蔵王町		(6) 10	1					(1) 2	(7) 13		7							1	8	
七ヶ宿町		(3) 4	(1) 1					1	(4) 6		3	1							4	
大河原町		(2) 5			(1) 1				(3) 6		2			3					5	
村田町		(2) 5			1		(1) 1		(3) 7		3					1			4	
柴田町		(6) 7	(2) 2					(2) 3	(10) 12		7	2						2	11	
川崎町		(5) 9	(1) 1						(6) 10		6	1							7	
丸森町		(5) 5			1				(5) 6		5								5	
管外								1	1											
合計	(2) 2	(46) 71	(5) 6		(1) 4		(1) 1	(8) 15	(63) 99	2	51	5		3		1		8	70	
前年	(1) 1	(32) 74	(1) 7	(1) 2	2			(10) 21	(45) 107	1	35	1	3					10	50	

### 3. 救出所要時間状況

時間 事故種別	救出に要した時間別件数						計
	10分未満	10～19分	20～29分	30～59分	60～119分	120分以上	
火災	1		1				2
交通事故	23	13	7	3			46
水難事故	1			4			5
自然災害							
機械事故		1					1
建物事故							
ガス酸欠	1						1
爆発事故							
その他	2	2			1	3	8
合計	28	16	8	7	1	3	63

### 4. 救助活動に使用した器具機材

使用器具機材	使用回数																							
	車載クレーン	車載ウインチ	可搬ウインチ	ワイヤー	大型油圧機	バックボード	舟形担架・平担架	ガラス切断機	空気切断機	空気拡張機	保護材・あて木	万能斧	鉄線カッター	レスキューナイフ	救命ふか	救命ボート	救助用胴衣	投光器	救助ロープ各種	カラビナ・滑車	縛り帯等	各種梯子	空気の呼吸器	その他
	1	3		2	6	22	3				7		1	1	1		2	7	7	4		2	3	16

# 通 信 統 計 の 概 要

## 1. 総受信状況

平成 30 年中の受付総数は、12,073 件であり、昨年よりも 378 件増加している。内訳は 119 番通報による受付が最も多く、10,364 件（85.9%）となっている。次いで、加入電話による受付が 446 件（3.7%）と続いており、一日あたりの受付件数については 33.1 件であった。

## 2. 119 番受付状況（災害種別）

10,364 件の 119 番受付状況を災害種別にみると、救急が 7,727 件（74.6%）となっており、火災については 135 件（1.3%）、その他の災害が 158 件（1.5%）の受付件数であり、前年比 212 件の増加となった。

災害以外の受付（各種問い合わせ等）については、2,344 件（22.6%）であり、前年比 20 件の増加となった。

## 3. 119 番通報の固定電話と携帯電話別受付状況

119 番受付件数を電話種別にみると、固定電話のうち、NTT 加入電話による通報が 3,892 件（37.5%）で前年 3,995 件（39.4%）と比較し減少。IP 電話による通報が 2,890 件（27.9%）で前年 2,784 件（27.5%）と比較し増加している。

携帯電話による通報が 3,582 件（34.6%）で前年 3,353 件（33.1%）と比較し増加している。

※ IP 電話とは、インターネット回線を利用した電話である。

## 4. 119 番以外による災害受付状況

119 番通報以外による災害等受付件数は 1,490 件であり、最寄りの消防署へ直接電話をする加入電話が 436 件と全体の 29.3%を占めており、その内の 324 件が救急によるものであった。

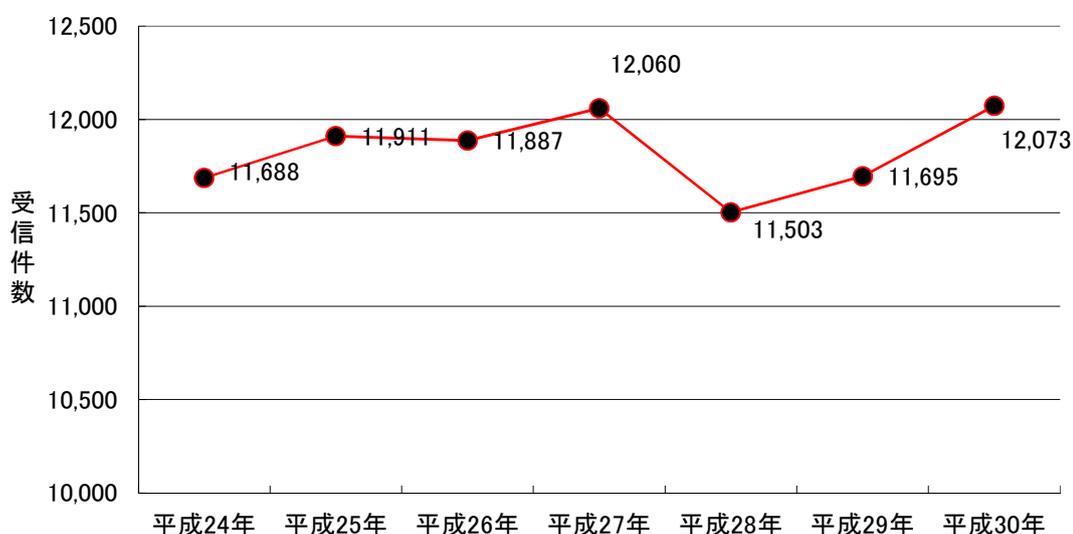
直接消防署へ駆け付けての通報は 52 件（3.5%）となっている。

## 5. 消防テレホンサービス利用状況

消防テレホンサービスの利用状況については、207,617 回で前年より 673 回の増加となった。うち IP・携帯電話利用数が 192,063 回で 92.5%を占めており、一日あたりの回数は 568.8 回の利用となっている。

## 1. 総受信状況

区分	年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	構成比 (%)
119番通報		10,606	10,317	10,338	10,608	10,139	10,132	10,364	85.9%
加入電話		357	530	503	501	518	524	446	3.7%
警察電話		31	35	16	15	17	22	16	0.1%
NEXCO専用線		29	47	33	29	27	27	17	0.2%
自己覚知		84	78	62	86	76	56	52	0.4%
駆け付け		60	52	56	45	46	48	53	0.4%
その他		521	852	879	776	680	886	1,125	9.3%
合計		11,688	11,911	11,887	12,060	11,503	11,695	12,073	
1日平均		31.9	32.6	32.6	33.0	31.4	32.0	33.1	



## 2. 119番受付状況(災害種別)

区分	年	平成28年		平成29年		平成30年		前年比 (件)
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
災害	火災	229	2.3%	175	1.7%	135	1.3%	-40
	救急	7,349	72.5%	7,505	74.1%	7,727	74.6%	222
	その他の災害	131	1.3%	128	1.3%	158	1.5%	30
災害以外	問い合わせ	413	4.1%	349	3.4%	283	2.7%	-66
	間違い	297	2.9%	282	2.8%	319	3.1%	37
	いたずら	50	0.5%	48	0.5%	37	0.3%	-11
	通報訓練	894	8.8%	984	9.7%	1,013	9.8%	29
	回線試験	226	2.2%	180	1.8%	219	2.1%	39
	その他	550	5.4%	481	4.7%	473	4.6%	-8
合計		10,139		10,132		10,364		232

### 3. 119番年間受付状況(固定電話と携帯電話別)

		平成28年		平成29年		平成30年	
		件数	比率	件数	比率	件数	比率
固定	NTT	4,098	40.4%	3,995	39.4%	3,892	37.5%
	IP	2,701	26.7%	2,784	27.5%	2,890	27.9%
携帯		3,340	32.9%	3,353	33.1%	3,582	34.6%
合計		10,139		10,132		10,364	

※IP電話:  
インターネットプロトコル技術を利用して提供される音声通話サービス(NTTひかり電話を含む)。

平成28年	固定 (NTT), 40.4%	固定 (IP), 26.7%	携帯電話, 32.9%
平成29年	固定 (NTT), 39.4%	固定 (IP), 27.5%	携帯電話, 33.1%
平成30年	固定 (NTT), 37.5%	固定 (IP), 27.9%	携帯電話, 34.6%

### 4. 119番以外による災害受付状況

	火災		救急		その他の災害		計	
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
加入電話	11	10	361	324	128	102	500	436
警察電話			20	11	2	5	22	16
NEXCO 専用線	2	1	17	13	5	1	24	15
駆け付け	1		43	49	4	3	48	52
自己覚知			45	49	10	3	55	52
その他	9	14	166	168	544	737	719	919
計	23	25	652	614	693	851	1,368	1,490

### 5. 消防テレホンサービス利用状況

	平成28年	平成29年	平成30年	
固定電話	18,510	17,242	15,554	7.5%
IP・携帯電話	172,960	189,702	192,063	92.5%
計	191,470	206,944	207,617	

仙南消防本部消防テレホンサービス  
TEL0180-992-123